

第 2 回委員会での主な意見

対象	主な意見
基本方針などについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間の発想を取り入れ、流行のものを入れることも良いことではあるが、本公園では中長期を見据え、全国的に先進的な発想の開発ができると良い。 ・ <u>「生物多様性の重要性を発信する拠点」は非常に重要な方針なので、残しておく必要があるのではないか。</u> ・ ダイバーシティやインクルージョン、ローカルルール等についても言及できると良いのではないかと。
整備方針について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい自然共生の暮らし方を体験できるモデルとなる公園を目指すことが重要であり、<u>地域と連携して資源が循環するような生活や文化などを見せていくことが、インバウンドの集客にも繋がるのではないかと。</u>
利用計画・施設計画・動線計画などについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚田ゾーンは良い空間となっており、茅場整備場所は今後の可能性を非常に感じた一方で、森のゾーンの樹林は荒れている印象を受けたので、<u>国営公園として、里山や湿地を保全した上で、体験できる場としても整備できると良い。</u> ・ 本公園の今後の利活用を考える際に、しあわせの村とキーナの森を含めた <u>3 公園の一体的な活用を位置づけてもらえれば、周辺施設も今後のあり方について検討しやすい。</u> ・ 里地里山文化公園を目指すのであれば、<u>利用計画という言葉では不十分であり、まず、地元の方と一緒に作っていく公園であるという考え方が示せると良い。</u> ・ 「IV-4.動線計画」の変更について、木見口をなくして水と緑のゾーンと自然保全ゾーンを統合するのであれば、<u>今後の園路計画をしっかりと考えておくことが必要ではないかと。</u> ・ 茅場と湿地を上手く使えると良い。
管理運営計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国営公園の維持管理については、メリハリをつけた管理運営が重要である。

以上